

【機密性2 完全性2 可用性2】

## 倫理委員会議事要旨

- 1 日 時 平成29年10月16日(月) 15:41~16:04  
2 場 所 中会議室(1)  
3 出席者 ○自然科学系委員  
(医学) 井原 副院長(委員長)  
坂井 臨床研究部長(副委員長)  
吉永 特命副院長  
木村 統括診療部長  
牧原 第二診療部長  
(看護学) 井原 看護部長  
(薬学) 田村 薬剤部長  
○人文・社会学系委員  
(一般) 西平 事務部長  
今田 企画課長  
竹歳 管理課長  
(法曹) 板野 委員  
(倫理) 太田 外部委員  
本保 外部委員  
福田 外部委員(欠席)  
◇記録・・・ 金丸 庶務班長

- 4 議事要旨 下記のとおり  
配付資料

- ・9月倫理委員会議事要旨
- ・倫理検討委員会、臨床研究等審査受付簿
- ・臨床倫理審査申請書、研究倫理審査申請書(内容は、以下のとおり)
- ・倫理委員会規程修正版、研究利益相反審査委員会規程修正版一式

受付番号	職名	氏名	研究課題名
13	医療連携室	有友 公	ALS患者へ意思決定の支援についての考察
20	医療連携室	川端 宏輝	親族との関わりを拒否する独居患者の支援について
21	呼吸器アレルギー内科 医長	濱田 昇	両側多発陰影の1例
22	神経内科医 長	原口 俊	南岡山医療センターにおける病理解剖の普及 啓発活動と剖検検体の蓄積の推進
23	小児神経科 医長	井上 美智子	腕頭動脈離断術により気管切開を回避した重症心身障害児の1例
24	呼吸器アレルギー内科 医師	石賀 充典	肩周囲痛を伴い移動する浸潤影を呈した1例
25	作業療法主 任	片岡 靖雄	支部制の導入がもたらした効果について
26	神経内科医 長	原口 俊	多系統萎縮症の一部検例におけるグリア内封 入体顕微鏡写真の学術出版物への掲載

27	作業療法士	山下 真琴	呼吸器疾患に対する作業療法の卒前教育について—養成校へのアンケート調査から見た現状と課題—
28	看護師	石尾 みどり	効率的な治験実施への取り組み
29	理学療法士	木下 瞳	地域包括ケア病棟におけるリハビリテーションの現状
30	感染対策係長	形山 優子	VREのアウトブレイクを経験して学んだこと
31	診療放射線技師	三宅 慎太郎	逐次近似応用再構成法ASiRVが与える画質特性に対する基礎的評価
32	療養介助専門員	入江 麻記子	多系統萎縮症患者への季節を感じられる行事の取り組み
33	療養介助専門員	野田 朋子	筋萎縮性側索硬化症患者の金婚式の行事を実施して
34	保育士	目次 愛香	情緒不安にみられる利用者への関わりについて
35	小児神経科医長	井上 美智子	岡山県の小児在宅医療の実態
36	呼吸器アレルギー内科医長	濱田 昇	主治医交代により見捨てられたと感じる癌終末期患者の苦しみを通して地域包括ケアシステム連携を考える
37	作業療法士	井川 歩美	行動変容 stage に着目した入浴動作練習が日常生活に及ぼす影響
38	院長	谷本 安	選択的COX-2阻害薬でも眼瞼浮腫が誘発された皮膚型NSAIDs不耐症の1例
39	院長	谷本 安	高齢者喘息に合併した慢性副鼻腔炎の臨床的特徴
40	臨床研究部長	坂井 研一	気管切開患者の気管内大量出血について
41	臨床検査技師	三吉 佐智子	重症心身障害者病棟における耐性菌保菌率
42	医化学主任	藤田 裕子	中国五県における陰性桿菌の薬剤耐性に関する疫学調査
43	栄養士	森廣 真菜	当院での化学療法食改善への取り組みについて
44	栄養士	内山 歩美	呼吸リハビリテーション実施 COPD 患者における栄養補助の効果について
45	薬剤師	伊藤 里奈	INHによる末梢神経障害を呈した肺結核の1例
46	保育士	酒井 明日美	教育研修係を設置したことによる効果と課題

(内B) 委員13名が出席していますので、本委員会は成立しております。

【議事要旨の確認について】

(内B) 本日の議事要旨の確認は、太田外部委員と吉永内部委員でよろしくお願ひします。

【9月の議事要旨確認について】

(内B) 何か御指摘がありましたらお願いします。  
如何でしょうか。

＊ ＊ 9月の議事要旨が承認された ＊ ＊

【臨床・研究倫理審査の申請について】

10月の臨床倫理審査の申請について

＜受付番号20番、21番、23番～46番＞ 別紙資料参照

(内B) この案件につきましては、殆どが国立病院総合医学会で発表するものであり、侵襲や介入を伴わないものです。全て迅速審査での審査で問題ないと思われれます。

何か質問や意見はありますか。

＊ ＊ 承認された ＊ ＊

＜受付番号22番＞

(内B) 22番は神経難病についての研究です。神経難病には、まだ分からない事も多くあるため、生前同意を行い、剖検を登録しようとするものです。倫理的に、問題がないか意見を伺いたいと思います。

(内C) 検体を剖検を行った施設で取っておくのか。

(内B) 検体は施設に保管して、データベースに登録しておくものです。

他に何か質問がありますでしょうか。

＊ ＊ 承認された ＊ ＊

【その他】

倫理委員会規程修正版、研究利益相反審査委員会規程修正版について（別紙資料）

(内A) 前回の委員会でお渡ししていましたが、青地の部分に変更箇所です。何か意見はありますか。

(内B) 補足的に説明するが、研究利益相反審査委員会規程には迅速審査の記載がなかったので、今回追記した。また、組織も倫理委員会規程に合わせ、議長を指名し一元化を図ろうと考えている。

(外A) 研究利益相反審査委員会規程の第3条の2は必要ないのではないか。

(内B) 必要ないかも知れないが、機構から示されたものには明記されており、そのため記載している。

この他に何か質問はありますか。

＊ ＊ 特になし ＊ ＊

＊ ＊ 承認された ＊ ＊

(内B) この他に何か質問や、伝達事項はありますか。

＊ ＊ 特になし ＊ ＊

それでは、以上で倫理委員会を終了いたします。

・ 次回の開催日時 → 11月20日（月）15時～（受託研究審査委員会、終了後）

上記の議事要旨に相違ないことを確認する。

外部委員署名〔太田浩司〕

内部委員署名〔吉永治美〕